



# 宮城おおさき移住支援センター NEWS LETTER

おおさき暮らし  
を始めた方の  
“今”を伝える

VOL.01  
OCT, 2024

(岩出山エリア期間限定発行 10月~3月予定)

## 空き家利活用に興味がある方へ

### 【開催情報】

日時：10月12日(土) 10:00~12:00

場所：オンライン(申込者へ個別送信)

参加費：500円(通信料自己負担)

対象：空き家利活用を考えている移住希望者・既移住者  
空き家所有者等

内容：講師による空き家リフォームのいろは  
専門家への質問コーナー 他

締切：10月7日(月)

詳しくはおおさき移住支援センターまでお問合せください。

☎ 0229-25-4493    ✉ info@osaki-ijyu-support.jp

## 空き家時間

リフォーム費用は？ 空き家を見るポイントは？

2024年10月12日(土)  
10:00~12:00

タイムスケジュール

9:45 開場

開会・自己紹介

大崎市の空き家事情

空き家に住みたいそんなあなたへ

空き家活用のあれこれ(情報交換)

12:00 閉会



講師: 渋谷 大輔氏

一級建築士事務所 ストラオシシクロー株式会社 代表取締役

## 支援金情報

### 若者世帯の移住を応援

大崎市では、若者世帯の移住を支援するために住宅新築・購入・リフォームにかかる費用の一部を補助しています。

#### ▷住宅新築移住支援・購入移住支援

住宅を新築または購入する際の費用を一部補助。

#### ▷住宅購入に伴うリフォーム移住支援

分譲または中古住宅を購入し、リフォームする際の費用を補助。

#### ▷三世代リフォーム支援

市内へ移住する世帯および迎え入れる世帯への支援として、三世代同居に必要なリフォーム工事費用を補助。

※条件等がありますので詳細はお問合せください。

## おおさき移住支援センター の役割

おおさき移住支援センターcu:rusは、宮城県大崎市への移住をサポートする窓口です。移住に関するご相談を随時受け付けています。



### ●移住前・移住後のサポート

住まい探しや支援策の紹介、地域情報の提供などあらゆるサポートをしています。移住後のお困りごともお気軽にご相談ください。

### ●移住体験会の開催

大崎市の暮らしや雰囲気・環境などを知ることができます。企画型(まち歩き・空き家見学等)とオーダーメイド型で“おおさき暮らし”を体験しましょう。

### ●いろいろな相談方法があります

電話・メール・LINE・対面・オンラインで受付中!

## 大崎市空家バンク 空き家情報募集中

空き家は時間が経つにつれて老朽化が進み、管理が難しくなります。手遅れになる前にぜひ対策を講じましょう。大崎市空家バンクでは、市内の空き家情報を募集しています。空き家の売却や賃貸をお考えの方はぜひ一度、おおさき移住支援センターまでご相談ください。



トッシー水産

ぬまぐち としや

## 沼口 俊也 さん

千葉県館山市出身

2023年8月に大崎市へ移住。

漁師歴20年の経験を活かし、岩出山唯一の魚屋『トッシー水産』を開業。自身で厳選した海産物を販売している。

### 岩出山唯一の魚屋／トッシー水産

2024年8月にオープン。

旧野村医院の待合室内で、東北の魚を中心に扱う鮮魚店。自ら漁船に乗り、目利きした魚を扱うことにこだわる。営業は不定期。

営業日のお知らせは

Instagramまたは店舗入口にて発信。



## 海の男、山のまちへ

沼口俊也さんは、祖父母の住んでいた家を奥様が相続することになったため、急遽、大崎市岩出山に移住することに。昨年までは漁師一筋の人生を送っていました。

岩出山に移住した後は、大好きな映画『トラック野郎』の影響を受け、大型免許を取得して運送業のアルバイトをしていました。しかし、日々の食卓で新鮮な美味しい魚を食べたいと感じた沼口さんは、女川町の知人に漁師を紹介してもらい、再び自ら漁船に乗って自称『フリーランス漁師』に。

## 鮮度が自慢！トッシー水産、岩出山の新名所に

近所の方々との会話を通じて地域に魚屋が無いことや、魚屋を望む声が多いことに気付いた沼口さん。そのニーズを感じ取り、魚屋『トッシー水産』の開業を心に決めました。長年の漁師としての経験とネットワークを活かし、女川町や秋田県から新鮮な魚を仕入れて地域住民に届けています。秋田県までは片道5時間とかなりの距離ですが「荷物を積んで運ぶことが好きなので全く苦ではない」と沼口さんは語ります。

開業して間もない『トッシー水産』ですが、既に地域の方々から関心が高まっているようです。9月はアジ、サバ、カレイ、ポタンエビ、スルメイカなどの産地直送の鮮魚が店頭に並びました。「今後は週3日の営業を目指し、本当に美味しい朝どれ鮮魚を地域の皆さんに提供できるように頑張りたい。」と意気込む沼口さん。挑戦はまだ始まったばかりです。

発行：宮城おおさき移住支援センターcu:rus（くーらす）

運営：NPO法人おおさき地域創造研究会（大崎市業務受託団体）

宮城県大崎市古川駅前大通1-5-18 ふるさとプラザ2F

☎ 0229-25-4493

✉ info@osaki-ijyu-support.jp

